



東京金山会通信 No.62

「かねやま市」近況報告

毎週第4土曜日に開催している「かねやま市」。令和6年度3月の開催から、明るく素晴らしいデザインの「金山百年」のポスターとのぼり旗を使わせていただいております。売場がより華やかになったことで、これまで以上に、立ち止まっていただくお客さまが増え、品物を手に取っていただく機会が増えた印象です。金山出身者以外のお客さまも来訪され、よく「金山町はどこにあるんですか?」「どんな町ですか?」と、聞かれることがあります。これまでは、会話のみでご説明をすることが多かったのですが、最近は「K-hour」のパンフレットを活用してご説明するようにしています。パンフレットを見せてお伝えすることで、お客さまに、金山の具体的な印象をもっていただきやすくなりました。お客さまへ説明する立場としては、「K-hour」のパンフレットは「スタイリッシュ・わかりやすい・使いやすい」たいへん優れたツールです。「かねやま市」を通じて、「金山町のことを知っている」という方を、少しでも増やしていけるように、これからも取り組んでまいります。



【問合せ】 東京金山会 広報担当 藤山善夫 ☎080-5525-0435 mail : fujiyama.d.siren@ae.auone-net.jp



◀こちらから東京金山会のページにアクセスできます



「最上地域ふるさと連合会」役員会が開催され、東京金山会からは、佐藤保 副会長が出席いたしました。令和6年度としては初回の開催で、連合会としての今年度活動計画の確認、各地域単位会（新庄、舟形、真室川、戸沢、最上、鮭川、大蔵）の活動計画共有、近況共有が行われました。今年度の最上地域ふるさと連合会は、11月16日（土）に開催予定です。各ふるさと会が協力して首都圏から最上地域全体へ貢献できないか、検討を深めてゆきたいと思います。

森の子ども図書

No.220



あおいねこ

作・絵 谷内こうた

外が晴れていると、何だか心も晴れてくるように感じませんか? ワクワドキドキ! ある晴れた日に男の子の前に突然「あおいねこ」が現れました。男の子は猫のお客さんが出来て楽しくなったようです。しかし、どうして「あおい」猫が、晴れている時にだけ現われたのでしょうか? 晴れた日に、この本を読むと理由が分かるかも? だんだんと心までポカポカ温かくなります。

交流サロンぽすと

月～金 12時30分～17時30分まで

※12・1・2月は17時閉館

※祝・盆・正月は休み



※() 内作者名

／今月は8冊!／

気候危機がサクッとわかる本(森朗・森田正光監修)／風に立つ(柚月裕子)／シャーロック・ホームズの凱旋(森見登美彦) 電子レンジで簡単おいしい! バラバラ家族のぬくもりごはん(坂口ともこ)／八月の御所グラウンド(万城目学) お茶のすずめ(川口澄子)／疲労とはなにか! すべてはウイルスが知っている(近藤一博)／うたう(小野寺史宜)

図書室だより

風に立つ

柚月裕子／中央公論新社

問題を起こし家庭裁判所に送られてきた少年を一定期間預かる制度ー補導委託の引受を突然申し出た、南部鉄器職人の小原孝雄。仕事一筋で決して良い親とは言えない父の行動に戸惑う息子の悟。納得いかないままに少年と工房で共に働き、同じ屋根で暮らすうちに、悟の心に変化が訪れて…。



気候危機がサクッとわかる本

森朗・森田正光／東京書籍

急激に進行している「気候変動」に対して、一刻も早く対策を打たねば手遅れになってしまふ。そんな緊急性・深刻性の高さから、世界ではもう「気候変動」ではなく「気候危機」の言葉を用いるのが一般的になっています。本書は、ウエザーマップ所属の気象予報士たちが説く、「気候危機」に関する入門書です。



【図書コーナー】 金山町中央公民館内 9時～17時

金山町を明るく元気に!

集落支援員 須賀 歩夢



◀ふれスポ
Instagram



金山町
集落支援員

若葉の色鮮やかなこの頃、初夏の訪れを感じられるようになってきました。皆さん、こんにちは! 集落支援員(健康スポーツ推進員)の須賀歩夢です。早いもので就任してから10カ月が経過しました。昨年度は、たくさんの出会い、たくさんの経験をする事が出来ました。特に、町民の方からの生の声をいただきながら活動できたことが今年度に繋がる貴重な経験になりました。様々な意見や要望をたくさん聞くことができたので、今年度はこのことを活かしながらいベントを企画して開催できるようにしていきます。昨年度と同様に地域課題である高齢者の健康増進を充実していき、健康長寿の金山町を目指していきたいです。さらに、子ども達の運動の機会の減少などの問題についても解決していけるように子ども達向けの放課後イベントを時期に分けて開催して、運動の場を提供していけたらと思います。運動が好きな子ども達を増やせるように頑張っています。



▲お花見ウォークでの集合写真



▲小さな拠点づくり事業(月9)での一枚

は、スポーツイベントもあるので金山健康ふれあいスポーツクラブとしても全面協力しながら事業を行っていきます。町制施行100周年を祝いながらスポーツを楽しんでほしいと思います。たくさんの方の町民の方と交流ができることを楽しみにしております。トレッドマークの元気と笑顔を町民の方々に届けられるように頑張っていきます。



金山杉俳句会報 第四八七回

写経する墨の香りや花の雨
かんざしのやうに揺れる柳の芽
星川 キエ子

花種を風に飛ばさね慌ており
犬ふぐり田畑の地を這ふ青い花
岸 昭子

春うらら波立つ川面鵜の羽音
野に里に春の息吹や風戦ぐ
高橋 洋子

春の宵当所なままた一廻り
春の朝墨絵のごとき薬師山
鶴沼 よし子

かたくりの花にはころふ道祖神
花衣かかせぬものに厨事
阿部 一代

春昼の沖に夕日の句読点
清貧のむかしを踏んで土筆摘む
栗田 弥超

かねやま紅風会

風薫る四方の山々萌盛る
春夜空見上げて探す夫の星
春の畑苗木育てる親心
荒屋 阿部 勝子

好天や春畑仕込みの老夫婦
花廻廊想ひ出残る並木道
爛漫の今も心に花の旅
荒屋 関 喜美子

静けさや木陰ひっそり水芭蕉
菜の花や蜂の往来忙しく
春過し少し寂しい喜寿の坂
菅越 庄司 けみ子

花紀行親友とめぐるるみちのく路
親友と行く弘前城の花廻廊
人の世も遅咲桜の花三分
七日町 青柳 キエ子

残雪や白衣の鳥海浮きて立つ
若葉萌切立竜馬の立姿
幾難も越へて倒れし妻の顔
上台 阿部 一步